

## 1. はじめに

社会資本整備は、その整備効果の客観的定量評価が不可欠となっています。経済社会研究室では、社会資本整備の費用便益分析や都市交通政策の経済効果計測、有料道路の料金値下げ社会実験の効果分析等を主たるテーマとして、国・地域・都市が抱える交通関連の諸問題を経済的視点から解決する調査研究業務を行っています。以下は、その具体的内容について示したものです。

## 2. 主な調査研究活動

### (1) 社会資本整備に関する調査研究

社会資本の整備効果を様々な視点から計測するための調査研究を行っています。

具体的な効果計測の手法としては、交通網整備が経済活動に与えるフロー効果・ストック効果を捉えるマクロ計量経済分析、交通網整備による空間的帰着便益を捉える応用一般均衡分析（CGE）、公共投資の乗数効果を計測する産業連関分析、社会資本整備による資産価値の上昇を捉えるヘドニック分析、社会資本整備に対する支払い意思額をアンケート調査により捉える仮想市場法（CVM）、交通市場の需要関数の推定による消費者余剰分析などが挙げられます。社会資本整備に関する調査研究は、今後さらに論理性・客観性が要求されるため、理論研究と実証分析の双方から調査研究を進めています。

### (2) 有料道路の料金割引社会実験調査

有料道路の料金割引社会実験に関して、割引路線を対象に需要の価格弾力性分析、アンケート調査による利用者特性の把握分析を行っています。

これら社会実験の効果分析により、利用者にとって真に使いやすく、社会的便益が改善される料金施

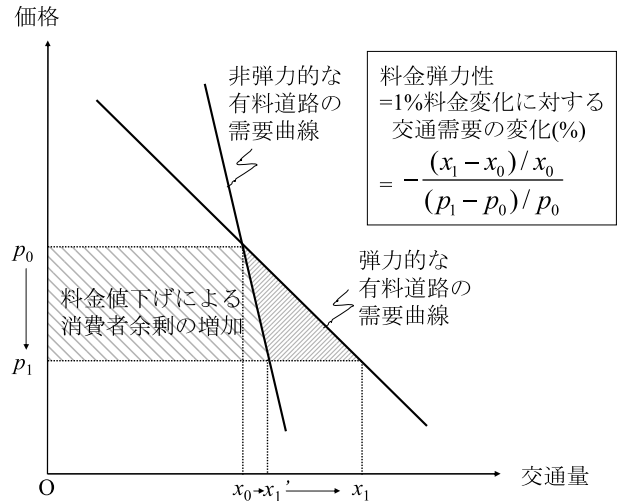


図 有料道路の割引による料金弾力性と消費者余剰

策に向けた検討を行っています。

### (3) 海外主要国の交通網整備に関する調査研究

我が国が今後適切に交通網整備を進めていく上で、諸外国の交通政策の動向を理解することは極めて重要です。海外主要国（米国・英国・仏国・ドイツ・中国・イタリア）の交通網整備の進捗状況や財源制度の情報収集を行っています。また、米国の SAFETEA-LU、EU の TEN 計画などの総合交通計画の動向や、ロードプライシング等の革新的取り組みについても調査しています。

### (4) 物流政策に関する調査研究

物流の効率化は、経済活動や市民生活を支える上で重要あり、かつ、物流を適切に処理しなければ都市環境や地球環境に悪影響が生じます。

当研究室では、東京都市圏物資流動調査や道路交通センサスといった統計データの解析を通じて、交通基盤整備や市街地整備における物流対策に関する調査研究を進めています。